

プライバシーに配慮した 自動車走行映像の収集

～ドライブレコーダー端末内での個人情報自動マスキング～

映像データビジネスのプライバシー問題を解決

- 収集された映像を用いたデータビジネスを行う際のプライバシー問題の解決に貢献します。
- 写りこんだ歩行者や自転車、自動車などの個人情報を AI でマスキングすることにより、データビジネスのさらなる拡大を可能とします。

マスキング処理をドライブレコーダー内で完結

- 通信型ドライブレコーダーの映像を活用したサービスを行う際に、映像からの情報の検知と並行して歩行者等の個人情報をマスキングした映像をサーバーに送信します。
- ドライブレコーダーに映像を保存した時点で、個人情報がマスキングされているため、サーバーへのデータ送信時やサーバー内のデータに個人情報が含まれるリスクをなくすることが可能になりました。
- デモ用のソフトが完成したため、車にドライブレコーダーを設置、街中を走行しマスキングする実証実験中です。

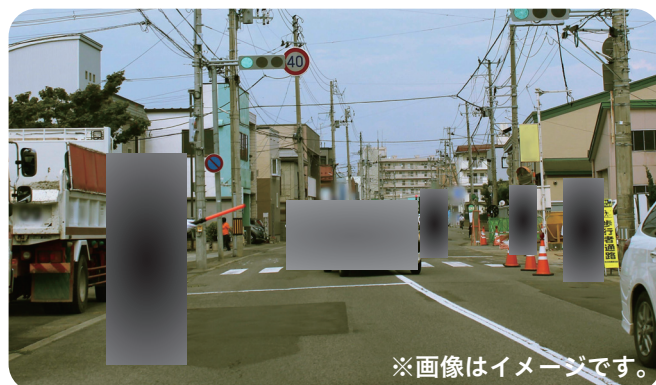
人件費・調査期間の削減

活用例として、今までは道路の穴や亀裂を検知するためには、人が車に乗って損傷具合を確認しており人件費や調査のための期間を要していましたが、このマスキング技術によってプライバシーの問題を解決しつつ、バスやタクシー、営業車などに取り付けられた通信型ドライブレコーダーの映像からデータを収集し、カバー率、リアルタイム性を高められることが期待されています。

(AI 開発：株式会社サイバーコア)



検知映像をサーバーに送信することによる
個人情報流出リスク



ドライブレコーダーでマスキングして
送信することでリスク回避



【チラシ DL 用 QR コード】
当社展示のチラシを全て
ダウンロードできます。

株式会社 JVCケンウッド

M&T 分野 テレマティクスサービス事業部 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目 12 番地
<https://www.jvckenwood.com/jp.html> Mail : TELEMATICS_EXHIBITION_JKC@jvckenwood.com